

すまい・まちづくりシンポジウム2024

公共不動産をどう生かすか ～公共施設再編からまちづくりへ～

趣旨

人口減少により、老朽化した公共施設や不動産の再活用が避けられない課題となってまいりました。役目を終えたり、規模の縮小が必要となった公共施設に関しては、従来までの単純売却だけに頼らず、地域に暮らす人々の生活利便性を高め、活性化につながるような街づくりによって生まれ変わらせることが必要となっています。

そこで今回のすまい・まちづくりシンポジウムでは、課題解決への新たな動機付けとなるように、「遊休施設となった公共不動産を活用して、いかに魅力ある街づくりを考えるか」というテーマでWEB開催をいたします。

皆様のご参加を心よりお待ちしております。



開催日時

2024年12月16日（月） 13:00～15:30
（10分前よりアクセス受付開始）

開催方法

WEBセミナー

お申し込み

定員 500名【参加費無料】 どなたでもご参加いただけます。

こちらからもアクセスできます



下記のURLより事前登録をして下さい。

https://us06web.zoom.us/webinar/register/WN_EOSn9n4TRk21FWs5fig8dQ

ご登録後、ウェビナー参加に関する確認メールが届きますので、当日は【ウェビナーに参加】よりご参加ください。また、開催1週間前と前日にはリマインドメールをお送りさせていただきます。

申し込み締切：12月13日（金）

※申込先着順で定員に達し次第締め切らせていただきます。

※確認メールやリマインドメールが届かない場合は、迷惑メールフォルダに入っている可能性もありますのでご注意ください。

主催
協賛
後援
協力

（一社）プレハブ建築協会 住宅部会 地域・まちづくり分科会
定期借地権推進協議会
（独法）住宅金融支援機構・（一財）住宅生産振興財団・（一財）都市農地活用支援センター
（株）プレイスメイキング研究所・（株）プレイスメイキング横浜

基調講演

「公共不動産をどう生かすか」

～公共施設再編からまちづくりへ～

早稲田大学 名誉教授 小松 幸夫氏



人口減少社会へと転換していく中で、公共施設の老朽化や過剰が問題となり再配置が検討されるようになりました。現状では総合施設管理計画を策定し、その実行にとりかかり始めた自治体が大半と思われます。他方で、統廃合で余った施設をどうするかについては、これから検討がなされるころでしょう。基調講演では、人口減少時代における公共施設の課題に触れたあと、余剰施設をどう生かしていくかについて考えてみたいと思います。常識的には売却という手段がとられると想像されますが、より積極的にまちづくりに活用できれば地域や住民にとってもよい結果につながるようになりますので、そのためのヒントをお示しできればと思います。

事例紹介・パネルディスカッション

【事例紹介】

■ 国立大学法人所有地の第三者貸付制度を利用した 一般定期借地権付分譲マンション事業

“アルビオアルファあがたの森公園”

ミサワホーム株式会社 街づくり事業本部

池上 智宏氏



■ 国立大学法人のグローバル化と地域交流を実現 “大阪大学グローバルビレッジ津雲台”

パナソニックホームズ株式会社 街づくり事業開発部

上田 眞氏



■ 官民一体で地域のお産を守る “公立保育所を民間産科クリニックへ”

積水ハウス株式会社 地方創生戦略部

吉崎 賢博氏



積水ハウス株式会社 地方創生戦略部

佐藤 哲氏



コーディネーター 早稲田大学 名誉教授 小松 幸夫氏

※講演タイトル等に変更の可能性があります。

15:30 閉会

お問い合わせ：（一社）プレハブ建築協会 業務第二部 シンポジウム担当 jyutaku@purekyo.or.jp

※メールの件名を「すまい・まちづくりシンポジウム問合せ」として下さい。

